

日本バイオレオロジー学会 40 周年記念シンポジウムのご案内

“これらかのバイオレオロジーへの期待

～40 年を振り返り、未来を見通す～”

開催趣旨：日本バイオレオロジー学会は、故岡小天先生が発足されて以来、40 年が経過致しました。岡先生は、生体物質の流動と変形の問題に関して、医学生物学、食品及び理工学に渡って分野横断的に議論して、新しい学問分野を開拓する事を提唱されました。40 年の間、学会は色々な変遷を辿りながら、現在に至り、多くの先生方のご尽力によりまして、学会が特定非営利活動法人として組織化され、さらに英文ジャーナル (J. Biorheology) を発刊して、多くの優れた論文を世界に発信する事が出来ております。そこで、バイオレオロジー学会の 40 年を振り返り、更には今後の新しい展開について考える機会として、下記の通りに記念シンポジウムを開催致します。多くの方々にご参加を賜りたくご案内申し上げます。

記

日時：平成 29 年 5 月 27 日 (土) 14:30～17:30

場所：川崎祐宣記念講堂 多目的ホール (岡山県倉敷市松島 288)

参加費：無料

講演

14:30 - 15:30 「バイオレオロジーと医用工学 ―基礎研究から医療イノベーション―」

梶谷文彦 (川崎医科大学名誉教授)

15:30 - 16:30 「医療ニーズに基づく医療機器開発の道筋」

谷下一夫 (早稲田大学ナノ・ライフ創新研究機構)

16:30 - 17:30 「食のバイオレオロジー」

西成勝好 (湖北工業大学軽工学部食品薬品工業学科)

*本シンポジウムは第 40 回日本バイオレオロジー学会年会と併行して開催されます。

年会 HP <https://i.kawasaki-m.ac.jp/birheo40/>

以上